



## ー 大切な人に食べてほしいトマトを作る ー

今回は神奈川県茅ヶ崎市のロココファームをご紹介します。

縁結びでも知られる、有名なサザンビーチちがさきの近くにロココファームがあります。神奈川県で飲食店を経営している平塚富士キッチンが、新規事業として立ち上げ、今年3月に竣工を迎えました。

農場長の東海さんは、前職の精密化学メーカーから脱サラし、農業に初挑戦されています。「家族や大切な人に安心して食べてもらえるものを作る」をモットーに、培土を使った栽培方法で農産物をできるだけ使わず、細菌や微生物と共生しながら植物本来の力を引き出すことで、病害虫に強い健康な植物を育てることを大事にされています。

ココロを込めてつくった栄養たっぷりのトマト、食べた人のココロもカラダも元気になってほしい、という願いを込めて『Lococo tomato (ロココトマト)』と名付けられています。収穫されたロココトマトはグループ会社の飲食店だけでなく、JAの農産物直売所やスーパーマーケットの産直コーナーなどへ出荷されています。甘さだけではなく、甘み×酸味×旨味のバランスがとれていて、トマトらしいトマトの味で美味しい！と評判になっているそうです。

東海さんは「将来的にはトマトだけではなく、他の作物にも挑戦したいと考えています。早く次のハウスを建てられるように頑張ります！」と話されていました。公式インスタグラムでは、東海さんとロココファームの様々な挑戦や、ロココトマトの生育の様子、新商品・イベント情報などが公開されています。フリーマーケットやマルシェなどのイベントにも積極的に参加されているそうなので、近くにお住まいの方は、ぜひロココトマトを買って、食べて、体感してみてください！

### 物件プロフィール



- ・ロココファーム
- ・作物：トマト
  - 大玉/りんか409
  - 中玉/シンディースイート
- ・2021年3月に2,349m<sup>2</sup>の  
屋根型フィルムハウスを建設



ロココファームホームページ：[www.lococo-farm.com](http://www.lococo-farm.com)  
Instagram：[@lococo.farm](https://www.instagram.com/lococo.farm)



屋根型フィルムハウス 外観



ロココトマト栽培風景

## 千葉研究農場トマト便り

立秋を過ぎても暑い日が続いておりますが、秋になって気温が低下し始めると、灰色かび病をはじめとした菌類の病気が増加しやすくなります。菌類が増殖しにくい環境作りを心がけるなど早めの対策が重要ですが、実際に病気が発生した場合、農薬を使うこともあるかと思えます。しかし、農薬にはたくさんの種類があって、どれを選ぶべきか悩まれる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

病気が多発した状態で特定の薬剤の使用を繰り返すと、たくさんの病原菌の中でその薬剤耐性を持つ個体を選択的に生き残ってしまうため、その薬剤に対する耐性菌が発生しやすい環境ができてしまいます。耐性菌を増殖させないための対策として、病気の兆候を見逃さないように日頃から作物をよく観察し、できるだけ早い段階で病原菌密度の高くない内に対処することが重要になります。農薬を使用する場合は、病気がひどくなる前に適切な量を散布するようにしましょう。

千葉研究農場では農薬を選ぶときの指標として、FRACコードを確認するようにしています。FRACコードとは、殺菌剤の作用機構と耐性リスクの高さを示したもので、特に、FRACコード「M」に分類される薬剤や「BM」に分類される生物農薬は、病原菌の複数の部分に対して作用する特徴を持っています。病原菌への作用機構が単一の薬剤に比べて耐性菌リスクが低く、比較的安価なものが多いです。農薬を使用される際には、これらの情報を用いてリスク面なども検討し、計画的に対策を行っていきましょう。



## アンテナ掲示板

先月のGPEC in Aichiでは、ランナーでおなじみの商品も実物展示を行いました。今号では、ご好評いただきましたDトレイについて改めてご紹介させていただきます。

### Dトレイの特徴



Dトレイは極少量培地耕に最適な栽培トレーで、適度な水分ストレスを与えることができるので、高品質な作物の栽培に適しています。栽培期間中の株の移動が簡単で、トマト等の低段密植栽培が行いやすく、育苗・定植・片付けの省力化に貢献します。

いつもランナーをご覧いただきありがとうございます。本号をもちまして、ランナーを一時休刊とさせていただきます。これまでご支援、ご愛読いただきました皆様、本当にありがとうございました。

ランナー編集長 石渡

ランナー vol.47 2021年9月発行 掲載記事の無断転載を禁じます。

発行所 株式会社 大仙 温室事業部

〒440-8521 愛知県豊橋市下地町字柳目8

[TEL]0532-54-6521 [FAX]0532-57-1751 [E-mail]mail.magazine@daisen.co.jp [登録]



※ メールマガジン配信希望の方は、右のQRコードよりご登録いただくか、上記のE-mailアドレスより空メールの送信をお願いいたします。